



### 『もっと学びたくなる授業』をめざして

子どもたちが、「心地いい」「うれしい」「楽しい」「もっとやりたい」と感じることでできる活動を工夫して授業を行っています。今回は、11月19日に行われた公開授業研究会の各学部各課程の授業の様子を中心に、紹介します。



富士特 HP

### <小A課程・訪問教育> 図画工作『でこぼこすりすり「わあできた！」』(3・4年生)

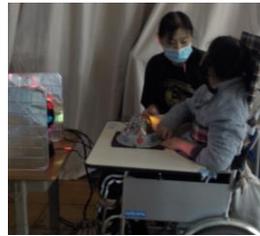
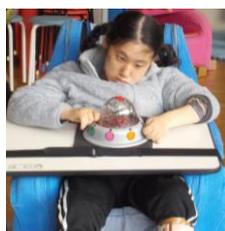
自分の好きな材料を選んで版を作り、版画の面白さを感じながら意欲的に活動に取り組む姿をねらって授業づくりをしました。感触の違う様々な材料を提示すると、手を伸ばしてじっくり触れ、材料の違いを感じ、好き嫌いを選び、教師に伝える姿を引き出すことができました。好きな材料を組み合わせて作った版に、好みの色の絵の具を塗り、目の前で刷り上がる様子を教師が見せると、うれしさと驚きの混じった表情を浮かべ作品の出来上がりを喜ぶ姿が見られました。その後、同じ版を違う色で刷るとまた違った趣の作品が出来上がりました。みんなで並べて鑑賞し、版画の面白さを各々が感じることができました。



### <中高A課程> 『ぐるぐる、ピカピカ』

高等部A課程3年生の個別の自立活動では、スイッチに触れると、キャスターカーが回転する、光る、クッションが振動するなど「自分が何かに働き掛けると何かが起こる」という経験を積み重ねることで、外界の変化に気づき、自分から物に繰り返し触れるようになることを目指して学習に取り組んでいます。

授業の始めにはふれあいリラックス体操をして、自分の体のイメージを明確にしています。手のひらの感覚を高めるために、タッピングをしたり、自分の手で自分の身体に触れたりする活動もしています。年間を通して、自立活動の授業の始めにふれあいリラックス体操を行っているので、心と身体の準備にもなっています。毎日学習することで、一番好きなぐるぐるキャスターカーでは、スイッチを押すとキャスターカーが回転することが分かり、自分から腕を動かしてスイッチを押すことができるようになりました。回転が止まるとまたスイッチを押して…を繰り返し、物に働き掛けることを楽しく学習しています。



### 富士特3校合同展示 SCRUM ARTS(図書館展)の御案内

日時：令和7年1月9日(木)～23日(火) 図書館開館時間 ※最終日は14時まで

場所：富士市立中央図書館 本館エントランスホール

学校パネル展示、図工・美術作品、作業製品の展示を行います。ぜひお立ち寄りください。

## <小学部B課程> 1年 生活単元学習『あおむしと かみで ひらひらびりびりくっしゃくしゃ』

はらぺこあおむしが大好きな1年生は、あおむしをテーマに紙広場で遊ぶ学習を行いました。9月に行った「しんぶんしひろばで遊ぼう」の学習からのつながりで、自分の好きな素材を見付けたり選んだりする力や、教師の誘いを受け入れて活動に取り組む力、友達や教師のまねをして、新たな遊びに興味を広げたり、工夫して遊んだりする力を身に付けることを目指して、新聞紙、包装紙、クラフト紙、京紙など、様々な感触の紙でダイナミックに遊びました。紙を丸めてあおむしに食べ物あげたり、あおむしと一緒に紙お風呂に入る等の活動を通して、自分からそれまでとは違う遊びに向かったり、教師や友達のまねをして遊んだり、休み時間からテーマソングを歌ったりと、児童の「やりたい」「今日も遊びたい」という姿をたくさん見ることができました。



## <中学部B課程> 1年 生活単元学習『目指せ！はたらく中学生！』

学年目標「みんなで協力 はたらく中学生」の下、挨拶、身だしなみ、返事、集中力など、働くために必要な力を身に付けるため、大淵クリーン作戦やこどもの国での清掃活動で培った経験を生かし、校内の清掃活動に取り組みました。校長先生から階段掃除の依頼を受け、活動をする時の目標を友達と話し合い、時間いっぱい掃除をしました。「ここが汚れているね。」「磨くときれいになるね。」など、声を掛け合ったり、自分が納得するまで黙々と磨き続けたりする姿を見ることができました。活動後は働く上で大切だと思ったこと、自分が意識して取り組んだことなど、意見を出し合って振り返り、仲間と共有することもできました。誰かのために働くことで、人の役に立つ喜びや感謝されて高まる意欲を大切に、今後も様々な学習と結び付けて仕事に取り組んでいきます。



## <高等部B課程>

### 作業学習 エコサービス班『資源をたくさんリサイクルしよう！～自分から働こう！～』

エコサービス班では、ペットボトルやアルミ缶のリサイクルを行っています。今回の単元では、自分たちの作業がリサイクルにつながっていることを知ったり、自分の目標達成を目指して主体的に作業に取り組んだりすることを目標にしています。リサイクルの仕組みを学び、学校や社会の役に立っていることを知ることで自分たちの仕事に誇りを持ち、責任をもって作業に取り組むことができるようになりました。今回の授業では、自分から進んで繰り返し空き缶やペットボトルを潰したり、ペットボトルに汚れが残っていないか確認したりするなど、任された作業に熱心に作業時間いっぱい取り組む姿につながり、「きれいな資源を納品しよう！」「自分から働こう！」という意欲がより一層高まっています！

